



京都大学 大学院 総合生存学館

思修館

令和5(2023)年度入学者 京都大学大学院 総合生存学館(思修館)博士課程[5年一貫制] 一般選抜学生募集要項

総合生存学館 アドミッションポリシー

総合生存学館は、総合生存学における課題解決情報を、机上ではなくその問題が起きている現場に即して創出し、的確に判断・行動できる高度な専門的能力を身につけた人材の育成をめざしています。文理にわたる幅広い専門的学識を積み重ねることで、多様な専門分野を俯瞰する力を培います。また、複数教員の指導と助言のもとで研究基礎力を養い、さらに国内外の社会実践で得られた経験知をモデル化して修得していきます。あわせて、顕在化している個々の問題解決にあたるだけでなく、人類や社会システム、地球社会などにおける今日的な問題の本質を理解して、総合生存学に基づく世界観・人間力・社会力をもとに自ら課題を設定し、その解決への営みを通じて、グローバルリーダーとなる人材を育成します。

総合生存学館は、次のような能力、適性、意欲を有する者を求めます。

- ・ 地球規模課題解決のために取り組む研究課題・研究目標を設定できる能力ならびに、研究をやり遂げる意志・能力及び研究を実施するに必要な基礎的能力を有していること。
- ・ 様々な地球規模課題を解決する強い興味と関心を持ち、自らの将来を計画し、決断、実行する力を有しているとともに、社会において多様な価値・システムを創造するようなグローバルリーダーを目指す意欲を有していること。
- ・ グローバルに活躍するための基礎となる語学力・コミュニケーション能力を有していること。



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

※ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、本年度の入試を募集要項どおりに実施することが難しく、変更せざるを得ない事態も予想されます。受験生の皆様におかれましては、学館ホームページ(<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/admissions-info>)にて情報を発信いたしますので、必ずご確認くださいようお願いいたします。

令和4(2022)年 4月

本学館に置く課程は、大学院設置基準第4条第3項にいう前期2年及び後期3年の課程に区分しない博士課程で、その標準修業年限は5年です。

学生募集は4月入学のみ実施しています。10月入学の制度はありません。

1 募集人員

専攻	募集人員
総合生存学専攻	20 名
	※ 外国人留学生特別選抜で若干名を内数として募集する。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者又は令和5(2023)年3月末日をもって該当する見込みの者。

外国籍の者で在留資格が「留学」である者又は入学時に「留学」の在留資格を取得できる見込みの者は外国人留学生特別選抜に出願してください。一般選抜に出願することはできません。

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 学校教育法104条の第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者 【※1 出願資格確認必要】
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 【※1 出願資格確認必要】
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 【※1 出願資格確認必要】
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者 【※1 出願資格確認必要】
- (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 日本の大学に3年以上在学した者(学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であって、本学館において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者 【※2 出願資格審査必要】
- (10) 本学館において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したのもの 【※2 出願資格審査必要】

※1 出願資格確認

出願資格(3)、(4)、(5)、又は(6)により出願を希望する者は、出願資格確認が必要です。京都大学アドミッション支援オフィス(AAO)(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/studyl/graduate/graduateinfo/ku-aa0>)に令和4(2022)年6月30日(木)(必着)までにアクセスし、必要なオンライン手続きを行ってください。

AAOによる資格確認の結果は、AAOから総合生存学館に直接通知されることになっていますので、総合生存学館に書類を提出する必要はありません。

なお、AAOによる資格確認の結果、下記 **※2 出願資格審査** が必要となる場合がありますので、早めに AAO の手続きを行ってください。出願資格審査が必要となった場合は AAO に登録されたメールアドレスに連絡します。

※2 出願資格審査

出願資格(9)又は(10)により出願を希望する者は、出願資格審査が必要です。本要項12ページを参照し、令和4(2022)年6月23日(木)までに本学館事務部教務掛に問い合わせてください。

3 出願手続

出願手続は、指定の期間内に「(1) インターネット出願システムでの出願登録」、「(2) 入学検定料納入」、「(3) 出願書類の提出」を行うことにより完了します。

(1) インターネット出願システムによる出願登録

インターネット出願システム登録期間

令和4(2022)年 7月7日(木)～7月25日(月)午後5時まで

※ 京都大学インターネット出願システムトップページ

<https://www.webshutsugan.com/kyoto-u-daigakuin/top/>

(2) 入学検定料等の納入

入学検定料等の支払いは、下記期日までに必ず行ってください。

詳しい支払い方法については、インターネット出願システムに表示される「支払方法」、または、「出願登録完了のお知らせメール」にも記載されていますので参照ください。

出願登録の際に必要な料金は、入学検定料(30,000円)、支払い手数料(650円)です。

入学検定料の納付期間

令和4(2022)年7月7日(木)～7月25日(月)まで

※ この期間中に、入学検定料の納入を済ませていなければなりません。

※ 入学検定料納入後は、登録内容の変更ができませんので、注意してください。

※ 入学検定料の返還について

次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しません。

- (i) 誤って二重に納入した場合
 - (ii) 入学検定料納付後、出願しなかった場合及び出願を受理できなかった場合
- 上記(i)、(ii)の場合は、後日手続きにより全額返還します。

※ 入学検定料の免除について

対象となる災害により被災した方で、罹災証明書を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがありますので、令和4(2022)年6月30日(木)までに本学館事務部教務掛へお問い合わせください。なお、申請する方は、支払い方法は「クレジットカード」を仮に選択してください。

「対象となる災害」については以下のウェブサイトをご参照ください。

◎ 京都大学「入学検定料の免除について」

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees-exemption>

(3) 出願書類の提出

出願書類受理期間

令和4(2022)年7月13日(水)～7月25日(月)午後5時まで。(必着)

提出は、インターネット出願システムの出願登録完了画面からダウンロードした宛名ラベルを市販の封筒(角2サイズ 240mm×332mm)の表面に貼り付け、書留速達郵便(外国からの場合はEMS(国際スピード郵便))として発送してください。直接持参しても、受理しません。

ただし、令和4(2022)年7月13日(水)以前の発信局消印がある書留速達郵便(外国からの場合はEMS(国際スピード郵便))として、期限後に到着した場合でも受理します。

※ インターネット出願登録後、出願書類の到着をもって出願受理としますので注意してください。

【 出 願 書 類 】

注1 出願書類に不備があるもの及び出願書類受付日後に郵送された願書は受理しません。

出願後は、書類に記入した事項の変更は認めません。

注2 出願書類の直筆での記載を要するところは、必ず黒のボールペン又は万年筆で記載してください。

注3 提出された出願書類は返却しません。

①志願票・写真票	インターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷してください。
②カラー写真2枚 (縦4cm×横3cm)	同一のカラー写真 (上半身脱帽正面向きで出願前3か月以内に単身で撮影したものを) 出願時に2枚用意 してください。
※同一の写真であ	内1枚は上記①写真票に貼り付け、もう1枚を提出してください。

ること。	写真の裏面に氏名を記入してください。
③成績証明書及び卒業(見込)証明書 ※原則日本語または英語の証明書を提出すること。	<p>出身大学学長又は学部長が作成し、厳封したもの。</p> <p>証明書の氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合は、氏名が変更されたことが確認できる公的証明書(3ヶ月以内発行日付)を添付してください。</p> <p>大学に編入した者は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。</p> <p>大学院に在籍している者は大学院の在学証明書を、修了している者は修了証明書及び大学院の成績証明書を提出してください。</p>
④英語のスコア (原本)	<p>令和元(2019)年 10月以降に受験した次の(1)から(6)の<u>いずれかの受験生宛に送付された試験のスコア原本</u>(コピー、受験者自身で印刷したものや大学宛に送付されるものは不可)。</p> <p>(1) TOEFL-iBT(Test Taker Score Report)の ETS から紙媒体で送付された原本。 <u>ETS から大学に直送される公式スコアレポート(Institutional Score Report)は利用できません。</u></p> <p>(2) TOEFL-ITP</p> <p>(3) IELTS の Test Report Form アカデミック・モジュールテストのみ認めます。</p> <p>(4) TOEIC L&R の公式認定証(Official Score Certificate)</p> <p>(5) 実用英語技能検定</p> <p>(6) 国際連合公用語英語検定試験</p> <p>出願時にスコア原本の提出が間に合わない場合には、入学試験実施日の試験開始前に上記スコアの原本を提出してください。</p> <p>試験開始前にスコアの原本を提出できない者も、ダウンロードした写しのスコアを提出したうえで受験を認めますが、その場合でもスコア原本を令和4(2022)年9月1日(木)17時(必着)までに提出してください。</p> <p>正当な理由なく英語スコア原本を提出しなかった場合は、英語を0点とし、不合格となります。また、入学検定料は返還しません。(6ページ 5 選抜方法 を参照のこと)</p> <p><u>上記の試験の試験日からスコアの原本が送付されるまでの期間を見込み、出願者は余裕をもって試験を申し込んでください。</u></p> <p>スコアを2つ以上提出することはできません。</p> <p>英語のスコアは下記を標準としますが、これら以下の点数であっても出願は可能です。</p> <p>(1) TOEFL-iBT(MyBest™ スコア):80点</p> <p>(2) TOEFL-ITP:550点</p>

	<p>(3) IELTS:オーバーオール・バンド・スコア6.0</p> <p>(4) TOEIC:L&R 740点</p> <p>(5) 実用英語技能検定:準1級</p> <p>(6) 国際連合公用語英語検定試験:B級</p>
<p>⑤小論文</p>	<p>必ず所定用紙を用いて、次の(1)～(2)について記載してください。 なお、日本語で記載することを原則としますが、英語でも可とします。 所定用紙は学館ホームページ(https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/general-entrance-examination)からダウンロードしてください(A4用紙)。 手書きは不可です。文字のフォントサイズは11ポイントで記載してください。</p> <p>(1) あなたが関心を持っている地球規模課題あるいは社会課題とその解決策について記載してください※。さらに、本学館への志望理由及び修了後の進路についてのビジョンを記載してください。</p> <p>※ 回答に含めるべき内容として、その地球規模課題あるいは社会課題に係る学問は何か、これまでに課題解決のためにどのような取り組みが行われたのか、あなた自身がその取り組みをどう評価しているのか、あなた自身が考えられる解決策は何か、等を記載してください。</p> <p>(A4 2枚以内 日本語1,500字以内、英語で記載の場合は600words 以内(参考文献を含まない))</p> <p>(2) 本学館で研究したいテーマと研究計画(目的・意義、新規性・獨創性、仮説・方法、期待される成果等)を記載してください。必要な場合、本文中に該当論文や著書を引用し、最後に参考文献としてまとめてください。</p> <p>(A4 3枚以内 日本語2,000字以内、英語で記載の場合は800 words 以内(参考文献を含まない))</p> <p>◎ 上記の字数を超過した場合は減点の対象になります。</p>
<p>⑥自己アピールビデオ(ナレーション付きのスライドショー可)</p>	<p>小論文の内容を中心に、(1)自己紹介、(2)志望理由、(3)関心のある課題とその解決策、(4)研究テーマと計画、(5)修了後の進路、(6)アピールポイント(これまでの研究成果、資格、ボランティア活動など)の6項目すべてについて、3分間の自己アピールビデオを作成し、学館ホームページ(https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/admissions-info)に示す方法で提出してください。</p> <p>評価されるのは作品の価値ではなくあなたの自己アピールそのものです。(ナレーション付きのスライドショー可)</p> <p>・ 出願書類とビデオの間に大幅な重複があっても問題ありません。</p>

	◎ 上記の時間を超過した場合は減点の対象になります。
⑦ 研究について教員と相談したことを示す書面	入学後の研究をスムーズに開始するために、研究について事前に学館の教員に相談(メール可)のうえ、所定の用紙を提出してください。(本学館の教員名については、本要項9～10ページを参照のこと) 用紙は学館ホームページ(https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/general-entrance-examination)からダウンロードしてください。
⑧ 入学後の予定主指導教員希望届	入学後に研究指導を希望する予定主指導教員(本要項9ページの専任教員のみ)の氏名を記入してください。出願書類 ⑦の教員(専任教員の場合)と重複しても問題ありません。 用紙は学館ホームページ(https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/general-entrance-examination)からダウンロードしてください。 なお、出願時に、入学後の予定主指導教員を決められない場合、予定主指導教員の氏名の欄に「未定」と記入してください。
⑨ 下記のうちどちらか1点 ・住民票の写し ・在留カード(両面)の写	日本に在住する外国人のみ。 市区町村長の発行するもの(在留カードについては地方入国管理官署の発行したもの)。 <u>在留資格が「留学」である者又は入学時に「留学」の在留資格を取得できる見込みの者は外国人留学生特別選抜に出願してください。</u>
⑩ その他添付書類	出願資格(2)により出願する者は、学位記の写し又は学位授与証明書等を提出してください。

4 受験票

受験票をスキャンした PDF ファイルをインターネット出願システム(個人情報入力)に記載のメールアドレス宛に送信します。

試験実施日当日は、受験票を紙に印刷したものを必ず持参してください。

受験票は入学手続きの際にも必要となりますので、それまで必ず保管してください。

なお、令和4(2022)年8月12日(金)を過ぎてもメールが届かない場合は本学館事務部教務掛へ問い合わせてください。

5 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査、英語スコア及び試験により行い、総合的に評価します。ただし、口頭試問において「否」と判定された場合は、不合格となります。

- (1) 書類審査【小論文、学部の成績、大学院の成績(大学院修了者の場合)、自己アピールビデオ】
- (2) 試験【筆答試験(専門基礎科目)、口頭試問】

試験実施日 令和4(2022)年8月27日(土)

時 間	試験科目	内 容
10時00分～ 11時30分	筆答試験 (専門基礎科目)	各出題分野から学部3年次が終わった時点で学修している専門基礎知識を問います。出題分野は以下のとおりであり、インターネット出願時に選択した1分野の問題を解答してください。(出願後、選択した分野の変更はできません。) ----- 出題分野：化学、環境学、機械工学、経済学、社会学、情報学、心理学、数学、生物学、生命科学、哲学、電気工学、農学、物理学、文学、法学政治学、歴史学 ----- 問題文は日本語及び英語で記載されています。また、解答は主に日本語で行うこととしますが、英語でも可とします。
13時00分～ (予定)	口頭試問	提出された出願書類の内容を中心に質疑応答を行います。主に日本語で実施しますが、必要に応じて英語を使用します。

(3) 試験場：京都大学大学院総合生存学館(東一条館)

6 合格者発表

(1) 令和4(2022)年9月15日(木)午後3時に京都大学大学院総合生存学館(東一条館玄関)に掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

また、合格者の受験番号を学館のホームページに掲載します。

<http://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/admissions-info/>

なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

(2) 若干名の「合格有資格者」を発表することがあります。合格発表後、辞退者があった場合、合格有資格者を合格者とすることがあります。その場合は令和4(2022)年12月22日(木)までに直接合格有資格者に連絡します。

7 入学料及び授業料 (注：入学時及び在学中に改定されることがあります。)

(1) 入学料 282,000円

(2) 前期分授業料 267,900円(年額535,800円)

納付時期等については合格者に通知します。

8 個人情報の取扱いについて

(1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

(2) 出願書類に記載されている氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。

(3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法及び教育課程改善の検討資料

作成のために利用します。

- (4) 出願書類に記載されている個人情報、入学者について、①教務関係(学籍管理、修学指導、教育課程の改善等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

9 過去の入試問題の閲覧について

過去(平成31・30年度実施分(冬季募集は除く))における筆答試験(専門基礎科目)の問題を、学館ホームページで公開しています。詳しくは、ホームページ(<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/admissions-info>)を確認してください。

10 入学希望者の施設見学について

研修施設等の見学を希望される場合は、ホームページ(<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/admissions-info>)を確認してください。通常、総合生存学館のカリキュラム概要説明(30分～1時間程度)を受けていただいた後、京都大学東一条館、第一・第二研修施設の施設見学(1時間程度)をしていただきます。

11 注意事項

- (1) 障がい等があり受験上若しくは修学にあたって配慮を必要とする者は、協議しますので、令和4(2022)年6月30日(木)までに本学館事務部教務掛にお知らせください。なお、内容によっては対応に時間を要することもありますので、早い時期に申し出てください。事前に申請がないと配慮できない場合があります。
- また、出願後に受験上の配慮が必要となった場合には、速やかにお知らせください。なお、直前の申請や申請内容により、希望する配慮が行えない場合があります。
- (2) **出願書類の内容に虚偽事項が発見された場合は、合格あるいは入学後であってもそれを取り消す場合がありますので注意してください。**
- (3) 学館ホームページに、入試等に関するFAQを公開していますので、参照してください。
(<http://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/faq list/>)

12 入学試験に関する連絡先

〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1 京都大学東一条館
京都大学大学院総合生存学館(思修館) 事務部教務掛
TEL 075-762-2002
E-Mail gsais-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※ 業務時間は平日8:30～17:15(12:00～13:00を除く)です。

平日のうち、本学創立記念日(6月18日)、夏季一斉休業日(8月第3週)、12月29日～1月3日は事務室が閉室しているため、対応できません。

本学館教員一覧

- ・ 研究について事前に相談する教員は表1・表2・表3から選択してください。
(本要項6ページ〔3. 出願書類〕⑦研究について教員と相談したことを示す書面を参照のこと)
- ・ 入学後の予定指導教員は表1から選択してください。
(本要項6ページ〔3. 出願書類〕⑧入学後の予定指導教員希望届を参照のこと)

表1:専任教員

氏名	職名	研究領域	連絡先 +kyoto-u.ac.jp	教員ホームページ
				教育研究活動データベース
イケダ ユウイチ 池田 裕一	教授	データ科学、ネットワーク科学、計算科学	ikedaya.yuichi.2w@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/ikeda/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/pN6aW
サイトウ ケイ 齋藤 敬	教授	グリーンケミストリー、サステナブルケミストリー、サーキュラーエコノミー、化学(環境調和高分子)	saito.kei.1y@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/saito/index.html http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/jT3oP
ナガヤマ ヒロアキ 長山 浩章	教授	電力政策、再生可能エネルギー政策、電力事業経営、国際協力	nagayama.hiroaki.3a@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/nagayama/index.html https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/bO7iK
ヤマシキ ヨフスケ 山敷 庸亮	教授	地球惑星科学(水資源工学、水環境工学、太陽地球系科学)	yamashiki.yosuke.3u@	http://www.gwriab.org/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/tL0qH
ヤルナゾフ IALNAZOV, ディミター サボフ Dimitar Savov	教授	政治経済学、経済開発、新興国及び発展途上国における再生可能エネルギーへの転換	ialnazov.dimitersavov.8w@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/inalnazof/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/mF8mK
カナムラ タカシ 金村 宗	准教授	ファイナンス、エネルギー経済学、金融工学、リスクマネジメント	kanamura.takashi.3u@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/kanamura/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/mY4bW
セキヤマ タカシ 関山 健	准教授	国際政治経済学、環境政治学、法と開発	sekiyama.takashi.2e@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/sekiyamatakehi/index.html http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/pS5pX
チウ リョウ 趙 亮	准教授	情報学基礎、計算基盤	liang@gsais.	http://aw.gsais.kyoto-u.ac.jp/liang/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/gT9tC
デロシェ DEROCHE マルク・ヘンリ Marc-Henri	准教授	哲学、宗教学、倫理学、仏教学、チベット・ヒマラヤ学	deroche.marchenri.6u@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/deroche/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/oW3gJ
ミズモト ケンジ 水本 憲治	准教授	感染症疫学	mizumoto.kenji.5a@	http://square.umin.ac.jp/kj/kmizumoto.jp.htm http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/hD4fW

表2:特定教員

氏名	職名	研究領域	連絡先 +kyoto-u.ac.jp	教員ホームページ
				教育研究活動データベース
クワジマ シュウイチロウ 桑島 修一郎	特定教授	イノベーション論、産学連携論、科学技術政策論、X線解析学	kuwajima.shuichiro.3c@	http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/xE7zZ
ドイ タカオ 土井 隆雄	特定教授	有人宇宙学、宇宙工学、流体力学、天文学	doi.takao.8w@	https://www.uss.kyoto-u.ac.jp/humanspace/index.html https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/uH8sI
ハシモト ミチオ 橋本 道雄 ^{注1}	特定教授	エネルギー政策、エネルギー技術、水素、再生可能エネルギー、国際協力	hashimoto.michio.4x@	https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/iW6nM
シノハラ マサタケ 篠原 雅武	特定准教授	哲学、環境人文学	shinohara.masatake.3a@	https://researchmap.jp/mshinohara http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/mV0xV
シメズ ミカ 清水 美香	特定准教授	公共政策、社会システム、レジリエンス、組織ガバナンス、災害リスクマネジメント	shimizu.mika.5a@	https://resilience-initiative.com/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/oK4kY

(連絡先に記載のアドレスに、kyoto-u.ac.jp を加えてください。)

注1:経済産業省からの出向

表3:協力教員

氏名	職名	所属	研究領域	連絡先 +kyoto-u.ac.jp	教員ホームページ
					教育研究活動データベース
アンバシ マサヒト 安橋 正人	特 定 准教授	経済研究所	応用ミクロ経済学、産業組織論、イノベーション経済学、開発経済学	anbasi.masahito.4z@	https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/kC2iG
イイヨシ トオル 飯吉 透	教 授	高等教育研究開発 推進センター	教育イノベーション、高等教育システム、オープンエデュケーション	iiyoshi.toru.6m@	http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/staff/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/zU4yZ
イナガキ ノブヤ 稲垣 暢也	教 授	医学研究科	内科学、糖尿病・代謝学、内分泌学、栄養学	inagaki.nobuya.4e@	http://metab-kyoto-u.jp/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/gN2fU
ウサミ ブンリ 宇佐美 文理	教 授	文学研究科	中国芸術論	usami.bunri.6w@	https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/eW5iN
オホガキ ヒデアキ 大垣 英明	教 授	エネルギー理工学 研究所	加速器物理、自由電子レーザー、放射線計測、核セキュリティ技術、アジア地区でのエネルギー教育と地方部電化	ohgaki.hideaki.2w@	http://www.iae.kyoto-u.ac.jp/quantum/ohgaki/index.html https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/bC6kN
カキツミ アキラ 垣塚 彰	教 授	生命科学研究科	難治性疾患の発症機構及び治療法の開発	katsumi.takeshi.6v@	http://www.funcbiol.lif.kyoto-u.ac.jp/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/eW0iN
カツミ タケシ 勝見 武	教 授	地球環境学堂	地盤工学、地盤環境工学、地球環境学	katsumi.takeshi.6v@	http://geotech.gee.kyoto-u.ac.jp/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/eY3hE
カワカミ コウジ 川上 浩司	教 授	医学研究科	社会医学、臨床医学	kawakami.koji.4e@	http://square.umin.ac.jp/kupe/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/vL5iJ
クマダ タカツネ 熊田 孝恒	教 授	情報学研究科	認知科学、実験心理学、教育心理学	kumada.takatsune.7w@	http://www.genome.ist.i.kyoto-u.ac.jp/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/qO7mI
サカイ ヤスヨシ 阪井 康能	教 授	農学研究科	農芸化学、応用分子細胞生物学	sakai.yasuyoshi.8x@	http://www.seigyo.kais.kyoto-u.ac.jp/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/dA3jL
ハラ ショウイチロウ 原 正一郎	教 授	東南アジア地域研究 研究所	情報学、デジタルヒューマニティーズ	hara.shoichiro.6r@	https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp/organization/staff-2/hara/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/sD4oL
ムラカミ ユウスケ 村上 勇介	教 授	東南アジア地域研究 研究所	ラテンアメリカ研究、政治学	murakami.yusuke.7e@	https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp/organization/staff-2/murakami/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/aC3iH

(連絡先に記載のアドレスに、kyoto-u.ac.jp を加えてください。)

注：協力教員とは、本学館の教育活動をサポートする他研究科及び研究所等に所属する教員です。

学生支援

1. 奨学金等

授業料免除・様々な奨学金に関する情報を提供します。申請にあたっては、学館内で選考の上、所定の手続きを行います。詳しくは教務掛にお尋ねください。

令和3年度以降、毎年総合生存学館3年生の優秀な学生2名に「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」からフェローシップ（研究専念支援金年間180万円と研究費年間30万円）が支給されます。

2. 合宿型研修施設

本学館では、グローバルリーダーに求められる異文化社会におけるリーダーシップ力を育成する教育研究環境づくりを目的として、異文化及び異分野出身の学生が昼夜を分かたず切磋琢磨し交流でき、かつ本学伝統の対話型高等教育研究を実施できる合宿型研修施設を整備しています。この施設は、研究と学習に集中できる日常生活の場として、また熟議や講義のための場として活用します。

研修施設の入居期間は入学年度の4月1日から博士授与学位日の翌日までの、原則休学期間や武者修行・PBRを開始する日の属する年度を除く通算4年を限度とします。

なお、入居者には各居室の光熱水費等の実費及び共益費月5,000円を負担していただくこととなります。（共益費の金額は在学中に改定されることがあります。）

3. 長期履修制度

次のいずれかに該当し、長期にわたり修学に相当の影響がある方又はあった方であって、課程修了に至る計画的な履修が可能な方は、審査を経て長期履修学生として履修を許可された場合、在籍期間を最長10年とします（休学期間を除く）。制度の詳細については、教務掛にお尋ねください。

(1)官公庁・企業等に在職している者（給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く。）及び自ら事業を行っている者などフルタイムの有職者で、計画的に長期履修が可能な者

(2) 出産、育児又は親族の介護を行う必要がある者

(3) 身体等に障害を有する者

その他

1. 官公庁・会社等に在職のまま入学を希望する者への注意事項

(1)入学願書提出に先立ち、研究指導を希望する本学館の専任教員に相談すること

(2)所属長の発行する入学承諾書（様式随意）を入学手続き時に提出すること

(3)就業については各自の責任において行うこと

**令和5(2023)年度入学者
京都大学大学院総合生存学館(思修館)博士課程(5年一貫制)
出願資格審査申請要項**

令和5(2023)年度入学者京都大学大学院総合生存学館博士課程(5年一貫制)学生募集要項の「2 出願資格」(9)又は(10)により出願を希望する者には出願資格審査を行います。

1 申請

前記出願資格(9)又は(10)により出願を希望する者は、京都大学大学院総合生存学館事務部教務掛へ令和4(2022)年6月30日(木)午後5時までに郵送(必着)又は持参により申請書類を提出してください。

2 申請書類

(1) 出願資格審査申請書(所定用紙)

総合生存学館ホームページ(<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/general-entrance-examination>)より A4サイズでダウンロードしてください。

氏名欄は自書し、学歴欄には「休学」もあれば記入してください。

必ず黒のボールペン又は万年筆で記載してください。

(2) 出身大学等の証明書

出願資格(9)により出願しようとする場合:在籍大学等の成績証明書

出願資格(10)により出願しようとする場合:最終出身校の成績証明書及び卒業証明書

(3) その他書類

出願資格(9)により出願しようとする場合:最終出身学校の学則(卒業要件が記載されたもの)

出願資格(10)により出願しようとする場合:大学卒業と同等以上の能力を示す業績、資格、社会における活動実績等を証明する書類(様式任意)

※ 出願資格認定申請後、追加書類を依頼する場合があります。

(4) 封筒(審査結果通知用)

長形3号封筒(120mm×235mm):申請者の住所・氏名・郵便番号を明記し354円切手を貼付したもの。

3 審査の方法

申請書類による審査を行います。審査の必要上、追加書類の提出を依頼する場合があります。また、必要に応じて、試験を課す場合もあります。

4 審査結果の通知

申請者には、審査結果を郵送により通知します。令和4(2022)年7月11日(月)になっても結果が届かない場合は、問い合わせてください。

〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1 京都大学東一条館
京都大学大学院総合生存学館(思修館) 事務部教務掛
TEL 075-762-2002
E-Mail gsais-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp